

第41回入学式



4月4日、新入生189名を迎え、第41回入学式が行われた。式では「何事にも本気で取り組み、夢に向かって一歩踏み出してください」と阿保民博校長から激励の言葉が贈られた後、新入生を代表して腰巡優菜さん（カレッジコース・下長中）が、「二高生としての自覚を忘れず、一生懸命努力します」と高校生活に対する決意を力強く宣誓した。

新入生の皆さんへ

二高で「逞しく
生き抜く力」を！

校長 阿保民博



新入生の皆さんご入学おめでとうございます。本校は地域に根差す私立進学校として確固たる地位を築いてきました。本校は勉強ばかりしているという話がよく聞かれますが、そんなことはありません。確かに勉強は、どの学校にも負けずしっかりとしてもらいます。そのほかに、部活動や生徒会等の諸活動はもちろんですが、本校では特に「ボランティア」「学外学習」「海外研修」などの体験や経験を通して培われる人間力の育成に力を入れ、様々な活動を行っています。昨年度は、ボランティアに延べ600名を超える生徒が参加、学外学習では白神山地探訪や六ヶ所原子力施設見学などの本校独自の体験学習、また大学等で行うサマーキャンプなどでの課題研究や国際教養大学でのイングリッシュヴィレッジへの参加など、生徒諸君は意欲的に自己向上に努めています。海外研修では、つい先日、本校独自のプログラムであるオーストラリア異文化体験プログラムへ26名が、続いて外務省の事業であるブルネイ高校生との交流事業で23名が研修を終えています。

このように本校では、学力や体力などの「目に見える力」と、ボランティアや学外学習・海外研修などで養われる人間力としての「目に見えない力」をバランスよく育て、「たくましく生き抜く力」を高校時代から育てることを大きな目標として教育活動を展開しています。これからの3年間、何事にも「本気」で取り組み、夢に向かって一歩を踏み出し、逞しく歩んでいくことを願って挨拶いたします。

グローバル

国際教養大学 (AIU) 主催 English Village 参加

国際教養大学 (AIU) が主催する English Village が、3月9日から11日まで3日間開催された。この催しは、留学生にインタビューをし、留学生に関する様々な情報を集め、最終日にそのプレゼンテーションを行うというものである。

参加生徒34名は、ランダムに6つのグループに分けられ、それぞれの留学生と共に過ごし、英語でのコミュニケーションに挑戦した。当初は皆、緊張し、上手く話し出せないでいたが、各グループにはアシスタントとして2～3名の AIU の学生が付き、懇切丁寧なアドバイスによりすぐにうち分け、積極的に活動できるようになった。

「間違いを恐れるな」を合言葉に積極的に活動し、最終日には工夫を凝らした素晴らしいパフォーマンスをすることができた。



オーストラリア異文化体験学習

3月4日から13日まで、オーストラリア・シドニーでの異文化体験学習に1・2年生26名が参加した。一時夕立に遭うも、八戸出発から到着まで快晴の日が続き、シドニーの美しい景色と雄大なブルーマウンテンズを堪能することができた。またホスト校のロリエンノヴァリススクールでは、午前中に英語の特別授業を受講し、午後は現地の生徒と体育やダンスで交流を図った。日本とは異なる授業時間体系に文化の違いを感じながらも、スクールバディやホストファミリーのサポートもあり、皆オーストラリアでの生活に慣れていった。最終日には本校生徒が掲載されたホスト校の学校新聞を頂き、よき思い出の1ページに加わった。

JENESYS2.0ブルネイへ派遣

3月25日、JENESYS2.0外務省派遣事業により本校から23名の生徒が、ブルネイ・ダルサラーム国へ旅立った。

一行は、全日程10日にわたるブルネイ滞在中、在ブルネイ日本国大使館の訪問をはじめ様々な交流活動を行った。地元大学への訪問では、大学生達と互いの情報をプレゼンテーションの形で発表し合った。また、昨年12月に本校を訪れたブルネイからの派遣団の人達と再会して国立公園内で合同合宿を行い、文化交流プロジェクトを通して互いの友好を確認した。最終日、現地の関係者を招いて報告会が行われた。生徒達は、発表前日にワークショップの準備を綿密に行って英語で発表し、列席した人々から中身の濃い発表だったとの高評価をいただき、ブルネイに別れを告げた。

